



CONSOL Marine Terminals LLC、ボルティモア・ターミナル (CMTL)

石炭は *Norfolk Southern Corporation* または *CSX Rail Transportation* のどちらかの鉄道でターミナルに運ばれます。石炭はデュアルカー・ロータリーダンパーにより積み下ろされ、お客様の貯鉱所までコンベヤで移動します。そのネットワークに沿って、幅 1800mm (72 in.) の C-2 コンベヤに位置する到着機械式試料採量方式で石炭の試料を採取することができます。

船(またははしけ)に積み込む際、石炭は 1 台あるいは両方のスタッカ／リクレーマによって貯鉱所から回収されます。石炭が船に移動するにしたがい、幅 2100mm (84 in.) の C-6 コンベヤに位置する積込機械式試料採量方式または機械式部分流動試料採取機で試料を採取することができます。

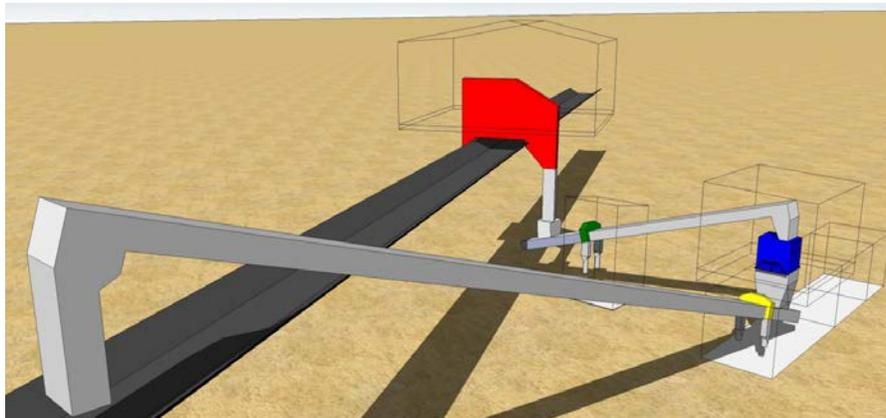
積込機械式試料採量方式および到着機械式試料採量方式の両方が *James A. Redding Company* (JARCO) により製造され、2011 年に設置されました。機械式部分流動試料採取機は *Precision Samplers Inc.* (PSI) により製造され、2015 年に設置されています。すべての試料採量方式の設計と操作プログラムを下記に記載しています。

積込機械式試料採量方式 (AS)



(ここに記載される測定値や重量はおおよそのものであり、一般的な参考目的のためにのみ提供されます。)

システムの主要コンポーネント一覧が下記に記載されます。75mm x 0 (3 in. x 0) またはそれ未満の製品を受け入れる際は ASTM 規格以上で作動します。



主要試料採取機-このクロスベルト・コンポーネント(レッド)は C-6 コンベヤ(ブラック)の最低 1.5 倍の速度で作動し、29 秒毎に 71.8kg (158 lb.) のインクリメントを取り出します。切削工具の開口部は幅 225mm (9 in.) です。各主要インクリメントは、主要フィーダーコンベヤに自重送りされます。施栓シュート指示計および振動子が、資材の流れを促すために試料採取機と主要フィーダーコンベヤ間の乗り移りシュートに設置されています。

主要フィーダーコンベヤ-この幅 600mm (24 in.) の囲い式コンベヤ(グレー、ナロー)は 0.2 m/秒 (31 fpm) で作動し、サイズバルク試料採取機を通った資材を粉砕機へ移動します。

サイズバルク試料採取機-このコンポーネントは粉砕しない試料の収集に利用します。この試料はサイズ分析またはその他の特別試験のためのもので、標準的な化学分析のために収集される試料と区別されます。このクロスベルト切削工具(グリーン)は主要フィーダーコンベヤの最低 1.5 倍の速度で作動し、5.5kg (11 lb.) のインクリメントを取り出します。切削工具は、それぞれに幅 228mm (9.1 in.) の開口部を備えた双頭切削工具で双方向に作動します。インクリメントは収集シュート付属の耐久型バッグへ自重送りされます。

ハンマミル粉砕機-ジェフリー・レーダー-34ABE 粉砕機(ブルー)は、モーター、固定ハンマー付きローター、丸穴型ふるい分機の組み合わせで構成されます。前部と中部のふるい分機の穴は 16mm (5/8 in.)、後部のふるい分機の穴は 19mm (3/4 in.) です。施栓シュート指示計および振動子が、資材の流れを促すためにこのコンポーネントの吸引口および吐出し口シュートの両方に設置されています。試料資材は 4 つのかみあいの一番大きなサイズに粉砕され、その後シュートを通して補助/リジェクトコンベヤに自重送りされます。

補助/リジェクトコンベヤ-この幅 600mm (24 in.) の囲い付きコンベヤ(グレー、ワイド)は、1.1m/秒 (221 fpm) で作動します。クロスベルト補助試料採取機を通り粉砕された資材を移動します。最終保存試料のために保管しない資材は、C-6 コンベヤの主流に置き戻されます。

補助試料採取機-このクロスベルト・コンポーネント(イエロー)は、補助/リジェクトコンベヤの最低 1.5 倍の速度で作動し、18 秒毎に 0.1kg (0.3 lb.) のインクリメントを取り出します。コンポーネントは、それぞれに幅 53mm (2.1 in.) の開口部を備えた双頭切削工具で双方向に作動します。インクリメントは収集シュート付属の耐久型バッグへ自重送りされます。

保存試料率-この試料採量方式は資材 1,000 純トン毎に約 4.8kg (10.5 lb.) の最終保存試料を収集するように設計されています。

機械式部分流動試料採取機 (MPS)



機械式部分流動試料採取機 (MPS) は主に、AS が作動不可になった場合にご利用いただける機械式試料採量装置の代替品です。この予備試料採量装置があることにより、人がコンベヤの外にて手で試料を採取する必要性がなくなり、そういった試料採量方法に起因する潜在的危険を避けることができます。MPS は AS と連携してご利用いただけ、サイズ分析またはその他の特別な試験のために粉碎されていない余分な試料資材を収集することもできます。

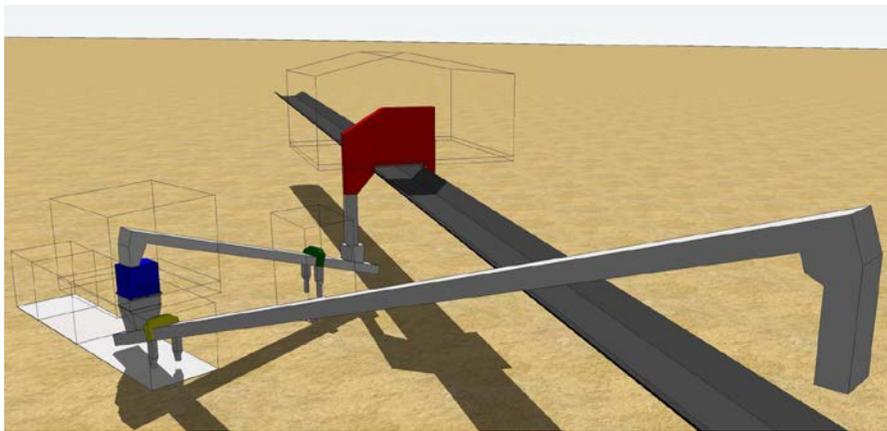
この収集設備は 2 台のスコップ(最下部、右)で構成され、これらは通常一体となって動作するよう設計されています。しかし、スコップの片方が故障した場合でももう片方のスコップは操作を続けることができます。試料のインクリメントは、各 MPS のサイド反対側にある 2 本の独立した収集チューブを通り、地盤面に位置する耐久型バッグに自重送りされます。インクリメントはそれぞれ最低 3.0kg (6.9 lbs.) の重量で、物資の種類や主要コンベヤの流量により異なります。試料採量の頻度は、必要な試料採取の種類に応じて調整可能です。



到着機械式試料採量方式 (AR)



システムの主要コンポーネント一覧が下記に記載されます。75mm x 0 (3 in. x 0) またはそれ未満の製品を受け入れる際は ASTM 規格以上で作動します。システムは複数のベルト速度や切削頻度に設定でき、最小 5,000トンの積送品の特別な試料要望に対応できます。



主要試料採取機-このクロスベルト・コンポーネント(レッド)は C-2 コンベヤ(ブラック)の最低 1.5 倍の速度で作動し、35 秒毎に 70.7kg (155.8 lb.) のインクリメントを取り出します。切削工具の開口部は幅 228 mm (9.1 in.) です。施栓シュート指示計および振動子が、資材の流れを促すために試料採取機と主要フィーダーコンベヤ間の乗り移りシュートに設置されています。試料資材は主要フィーダーコンベヤに自重送りされます。

主要フィーダーコンベヤ-この幅 600mm (24 in.) の囲い式コンベヤ(グレー、ショート)は 0.1 m/秒 (18 fpm) で作動し、サイズバルク試料採取機を通った資材を粉砕機へ移動します。

サイズバルク試料採取機-このコンポーネントは試料の収集に利用します。この試料はサイズ分析またはその他の特別試験のためのもので、標準的な化学分析のために収集される試料と区別されます。このクロスベルト切削工具(グリーン)は主要フィーダーコンベヤの最低 1.5 倍の速度で作動し、3.5 kg (7.8 lb.) のインクリメントを取り出します。このコンポーネントは、各主要インクリメントごとに最大 1 つのインクリメントを収集するよう設計されています。切削工具は、それぞれに幅 228mm (9.1 in.) の開口部を備えた双頭切削工具で双方向に作動します。インクリメントは収集シュート付属の耐久型バッグへ自重送りされます。

ハンマミル粉砕機-ジェフリー・レーダー34ABE 粉砕機(ブルー)は、モーター、固定ハンマー付きローター、丸穴型ふるい分機の組み合わせで構成されます。前部と中部のふるい分機の穴は 16mm (5/8 in.)、後部のふるい分機の穴は 19mm (3/4 in.) です。施栓シュート指示計および振動子が、資材の流れを促すために粉砕機の吸引口および吐出し口シュートの両方に設置されています。このコンポーネントは試料資材を 4 つのかみあいの一番大きなサイズまで処理し、シュートを通して補助ノリジェクトコンベヤまで自重送ります。

補助ノリジェクトコンベヤ-この幅 600mm (24 in.)の囲い付きコンベヤ(グレー、ロング)は、0.6m/秒 (114.0 fpm) で作動し、資材を移動し、補助試料採取機を通ります。最終保存試料のために保管しない資材は、C-2コンベヤの主流に置き戻されます。

補助試料採取機-このクロスベルト・コンベヤ(イエロー)は補助ノリジェクトコンベヤの最低 1.5 倍の速度で作動し、28 秒毎に 0.2kg (0.4 lb.) のインクリメントを取り出します。コンポーネント操作は、それぞれに幅 53mm (2.1 in.) の開口部がある双頭切削工具で、双方向となっています。インクリメントは収集シュート付属の耐久型バッグへ自重送りされます。

保存試料率-この試料採量方式は石炭 1,000 純トン毎に約 4.7kg (10.3 lb.) の最終保存試料を収集するよう設計されています。

付加サービス

SAI はボルティモアのエリアにて、直接または当社の提携会社を通して付加サービスをご提供しています。例：試料採量方式評価と監査、トラックオーガ試料採取、温度監視調査、貨物点検、喫水検査。





このパンフレットに記載される情報は占有であり、予告なしに変更すること場合があります。